この説明文書はお薬とともに保管し，使用の際にはよくお読み下さい。

説明文書改訂年月
2016年12月
※（使用上の注意の改訂）

Ⓕ

ベルゲン鼻炎カプセル 第②類医薬品

鼻炎内服薬

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと　守らないと現在の症状が悪化したり，副作用・事故が起こりやすくなる

1 次の人は服用しないで下さい

※①本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
②次の症状のある人。
前立腺肥大による排尿困難
③次の診断を受けた人。
高血圧，心臓病，甲状腺機能障害，糖尿病

2 本剤を服用している間は，次のいずれの医薬品も服用しないで下さい

他の鼻炎用内服薬，抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（かぜ薬，鎮咳去痰薬，乗物酔い薬，アレルギー用薬等），胃腸鎮痛鎮痙薬

3 服用後，乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい

（眠気や目のかすみ，異常なまぶしさ等の症状があらわれることがある。）

4 長期連用しないで下さい

相談すること

1 次の人は服用前に医師，薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

①医師の治療を受けている人。
②妊婦又は妊娠していると思われる人。
③授乳中の人。
④高齢者。
⑤薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
⑥かぜ薬，鎮咳去痰薬，鼻炎用内服薬等により，不眠，めまい，脱力感，震え，動悸を起こしたことがある人。
⑦次の症状のある人。
高熱，排尿困難，むくみ
⑧次の診断を受けた人。
緑内障，腎臓病
⑨モノアミン酸化酵素阻害剤（セレギリン塩酸塩等）で治療を受けている人。

2 服用後，次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので，直ちに服用を中止し，この文書を持って医師，薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤，かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐，食欲不振
精神神経系	めまい，不眠，神経過敏，頭痛，けいれん
泌尿器	排尿困難
その他	顔のほてり，異常なまぶしさ

※まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック（アナフィラキシー）	服用後すぐに，皮膚のかゆみ，じんましん，声のかすれ，くしゃみ，のどのかゆみ，息苦しさ，動悸，意識の混濁等があらわれる。
急性汎発性発疹性膿疱症	高熱，皮膚の広範囲の発疹・発赤，赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る，全身がだるい，食欲がない等が持続したり，急激に悪化する。
偽アルドステロン症，ミオパチー	手足のだるさ，しびれ，つっぱり感やこわばりに加えて，脱力感，筋肉痛があらわれ，徐々に強くなる。
再生不良性貧血	青あざ，鼻血，歯ぐきの出血，発熱，皮膚や粘膜が青白くみえる，疲労感，動悸，息切れ，気分が悪くなりくらっとする，血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱，さむけ，のどの痛み等があらわれる。

3 服用後，次の症状があらわれることがあるので，このような症状の持続又は増強が見られた場合には，服用を中止し，この文書を持って医師，薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

口のかわき，眠気，便秘，目のかすみ

4 5～6日間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し，この文書を持って医師，薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

裏面もお読み下さい→

用法・用量

1日3回服用する。ただし，服用間隔は4時間以上おいて下さい。

年　　齢	1 回 量	服用回数
成　人 15 歳以上	2カプセル	1日3回
7 歳以上 15 歳未満	1カプセル	
7 歳未満	服用しない ✕	

〈用法及び用量に関連する注意〉
(1) 小児に服用させる場合には，保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
(2) 7歳未満には服用させないで下さい。

効能・効果

急性鼻炎，アレルギー性鼻炎又は副鼻腔炎による次の諸症状の緩和
くしゃみ，鼻水（鼻汁過多），鼻づまり，なみだ目，のどの痛み，頭重（頭が重い）

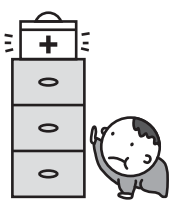
成分・分量

成　　分	成人1日量（6カプセル）中
クロルフェニラミンマレイン酸塩	9.6mg
塩酸プソイドエフェドリン	180mg
ベラドンナ総アルカロイド	0.3mg
グリチルリチン酸二カリウム	45mg
無水カフェイン	120mg

添加物として，トウモロコシデンプン，乳糖水和物，ステアリン酸Mg及びカプセル本体に添加物として，酸化チタン，青色1号，ラウリル硫酸Na，ゼラチンを含有しています。

保管及び取扱い上の注意

1 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
2 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3 カプセル剤の取り出し方
右図のようにカプセル剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して，裏面のアルミ箔を破り，取り出して服用して下さい。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。）
4 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。



本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。
明治薬品株式会社お客様相談室
電　　話：0120-53-3451
受 付 時 間：9:00～17:00（土，日，祝日，特定休日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元
明治薬品株式会社
富山県富山市三郷6番地